

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第23週の発生動向

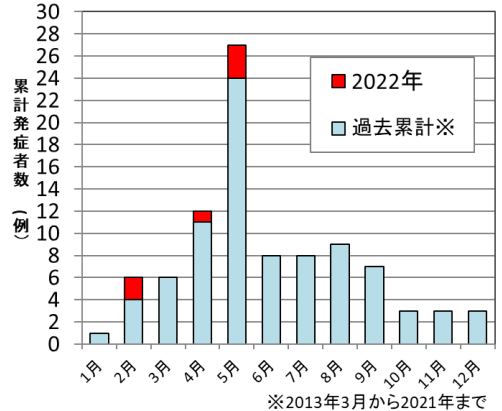
トピックス

・今年6例目となる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（全数報告の感染症）の報告が都城保健所管内からあった。患者は60歳代の男性で、ダニの刺し口があった。報告数が多かった昨年(13例)の23週時点(10例)と比較すると少ない報告数となっており、届出が開始されて以降の県内での累積報告数は、累計93例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	22	37	22	5

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



・新型コロナウイルス感染症(新型インフルエンザ等感染症)の報告が1,196例あり、2022年の累積報告数は49,309例となった。

全数報告の感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症2例、梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	肺結核	なし
			80歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		小林	70歳代	男	肺結核	発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、O26(VT1)
4類	重症熱性血小板減少症候群	都城	60歳代	男	—	発熱、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、刺し口
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、菌血症
		延岡	60歳代	男	—	発熱
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	無症状病原体保有者	なし

新型インフルエンザ等感染症 (23週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症1,196例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	432例	68	109	49	74	65	23	18	16	9	1	—	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	321例	75	57	46	50	39	27	18	7	1	—	1	
延岡	125例	34	24	14	15	15	8	8	6	—	1	—	
日南	94例	9	20	7	12	20	13	8	4	—	1	—	
小林	80例	20	11	12	23	4	2	5	1	2	—	—	
高鍋	48例	12	5	2	6	7	7	3	4	1	1	—	
高千穂	3例	—	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	
日向	70例	10	22	4	16	9	6	3	—	—	—	—	
中央	13例	1	2	—	1	2	3	2	—	1	1	—	
県外	10例	2	—	3	1	1	—	1	2	—	—	—	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は266人(定点当たり7.5)で、前週比82%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

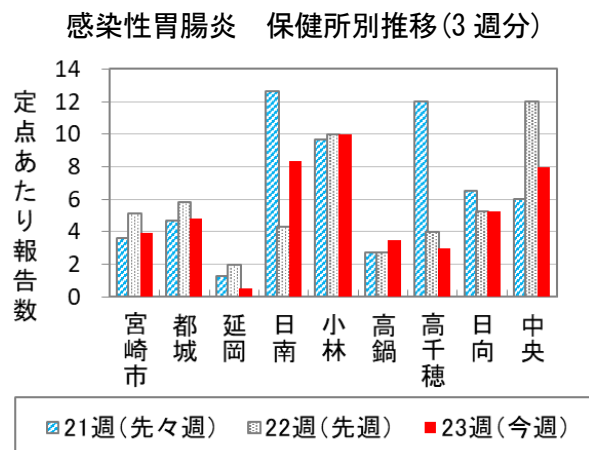
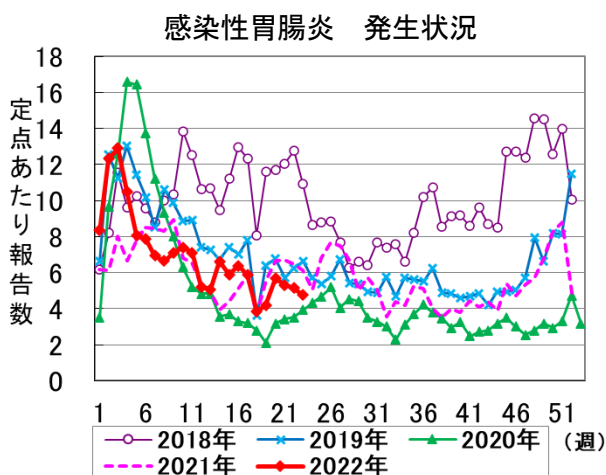
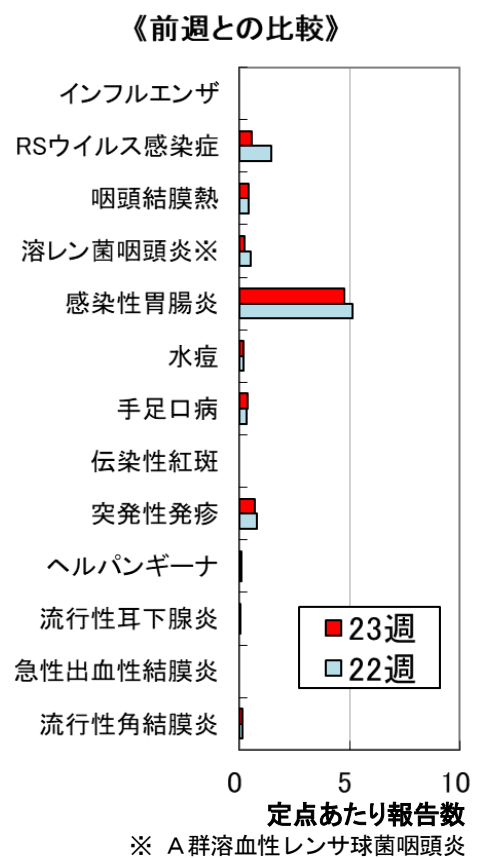
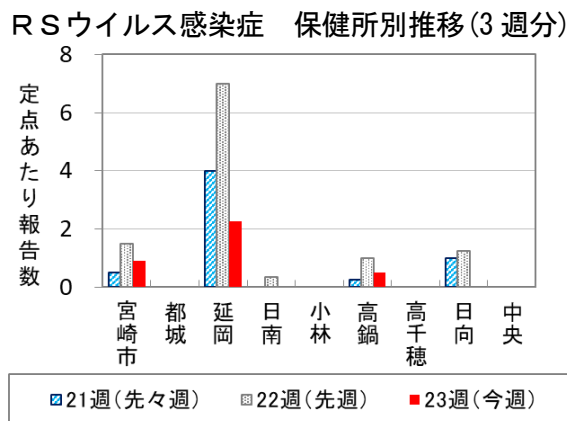
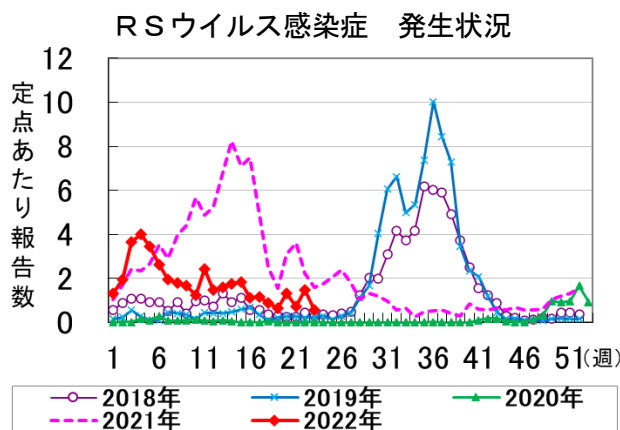
【RSウイルス感染症】

報告数は20人(0.56)で、前週比38%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.53)の約1.1倍であった。延岡(2.3)、宮崎市(0.90)、高鍋(0.50)保健所からの報告で、年齢群別はすべて4歳以下であった。

【感染性胃腸炎】

報告数は171人(4.8)で、前週比92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.9)の約0.7倍であった。小林(10.0)、日南(8.3)、中央(8.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(1.0)

* 流行注意報レベル基準値*
・水痘(1)

🇯🇵 全国 2022 年第 22 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	234 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	61 例		
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	4 例	重症熱性血小板減少症候群	5 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	9 例
	レジオネラ症	41 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	32 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	27 例
	水痘(入院例)	3 例	梅毒	159 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	5 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。

咽頭結膜熱の報告数は 1,141 人(0.36)で前週比 113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.59)の約 0.6 倍であった。石川県(0.93)、鹿児島県(0.91)、新潟県(0.89)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 16,759 人(5.3)で前週比 100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(5.1)の約 1.1 倍であった。鹿児島県(8.8)、大分県(8.1)、山形県(7.6)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2022年5月>

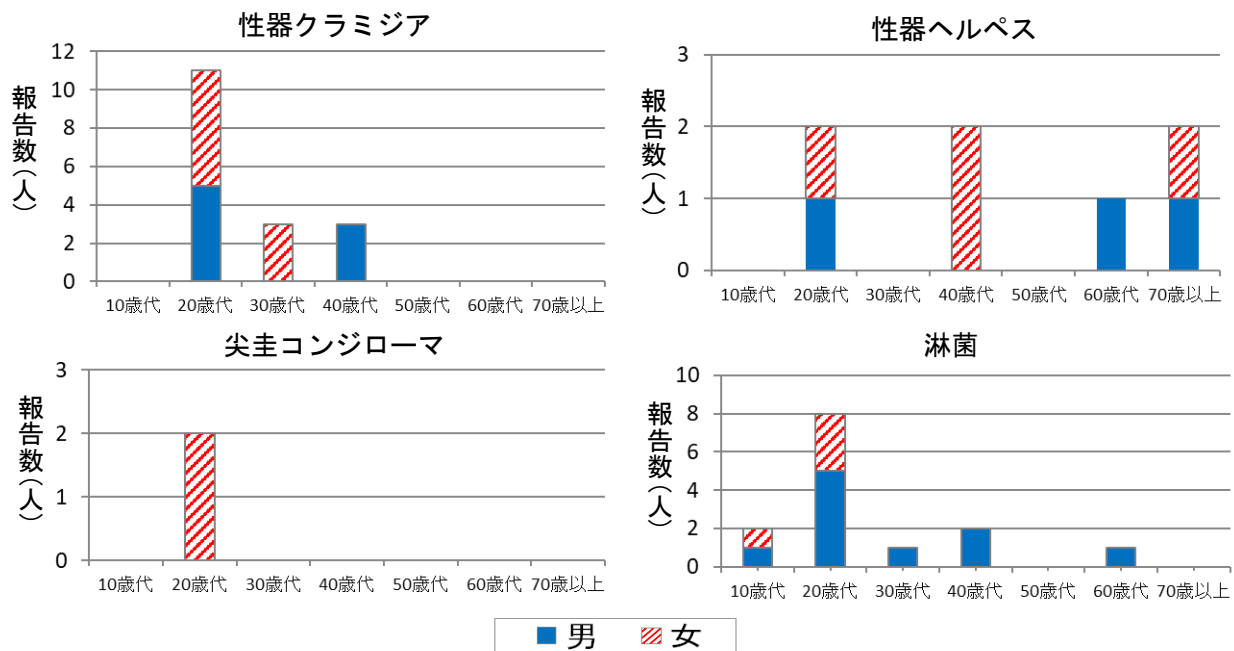
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人(3.1)で、前月比138%と増加した。また、昨年5月(3.9)の約0.8倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数17人(1.3)で、前月及び昨年5月の約0.7倍であった。
20歳代が全体の約6割を占めた。(男性8人・女性9人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月の3.5倍、昨年5月の約0.5倍であった。(男性3人、女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、昨年5月の0.5倍であった。(女性2人、前月報告なし)
- 淋菌感染症：報告数14人(1.1)で前月の3.5倍、昨年5月の約1.3倍であった。
(男性10人、女性4人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,617人(4.7)で、前月比106%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,533人(2.6)で前月比108%、性器ヘルペスウイルス感染症731人(0.74)で前月比97%、尖圭コンジローマ520人(0.53)で前月比115%、淋菌感染症833人(0.85)で前月比105%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は14人(2.0)で、前月比64%と減少した。また、昨年5月(1.9)の約1.1倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数14人(2.0)で、前月の約0.6倍、昨年5月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,266人(2.6)で、前月比108%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,189人(2.5)で前月比106%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症61人(0.13)で前月比163%、薬剤耐性緑膿菌感染症16人(0.03)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第23週(06月06日～06月12日)

疾病名	第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	53	20	9		9		2			
	定点当り	1.47	0.56	0.90	0.00	2.25	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	16	15	8	4	1		1		1	
	定点当り	0.44	0.42	0.80	0.67	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	18	8	1		1	4			2	
	定点当り	0.50	0.22	0.10	0.00	0.25	1.33	0.00	0.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	185	171	39	29	2	25	30	14	3	21
	定点当り	5.14	4.75	3.90	4.83	0.50	8.33	10.00	3.50	3.00	5.25
水痘	報告数	7	7	4	1		1				1
	定点当り	0.19	0.19	0.40	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	12	14	3	8	1					2
	定点当り	0.33	0.39	0.30	1.33	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
伝染性紅斑	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	25	7	4	3	1	3	3		3
	定点当り	0.81	0.69	0.70	0.67	0.75	0.33	1.00	0.75	0.00	0.75
ヘルパンギーナ	報告数	3	3	1			2				
	定点当り	0.08	0.08	0.10	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	2	1							1
	定点当り	0.06	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	1	1			1					
	定点当り	0.17	0.17	0.00	0.00	1.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～23週)

2類感染症	結核	48例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	6例(1)
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	34例(1)
	破傷風	3例	百日咳	8例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	49309例(1196)		

()内は今週届出分、再掲